



ロビーの正月飾りは1月7日まで。
今年は8日に行つたので見れず（昨年写す）

前回の最後に「七十五歳の誕生日は、去年娘が帝国ホテルで祝ってくれた」と同じように今年も帝国ホテルで祝つてくれます。自分で太い人生の節目をつ

心の後期高齢者にならないで!!

～帝国ホテル①～



藤屋 侃士
(下松市幸ヶ丘)

くるのだ!!」と書いた。改めて自分の原稿を読んで「これでは読者はなぜ誕生日を帝国ホテルで過ごすことが人生の節目にになるのかわからない」と自覚する。

実は昨年の年末年始は初めて長女と夫婦三人でロンドンで過ごした。海外への旅は福岡発着がほとんどだが、ロンドンには娘の都合で羽田発着。つまり正月明けに羽田に帰国したのである。せつかく東京に帰つて来たのだからと、一月八日の誕

生日まで東京で過ごすこととした。そして娘が選んだホテルがキャンペーン中で安いからと帝国ホテルだつた。

ホテルに限らず、いろいろ工夫してなるべく一流のものに接し、「心の貧しい人」にならないところだ。

さて、帝国ホテルに泊まり、誕生祝いをしたことが私の心を豊かにしてくれたというは正直な感想である。娘の気持ちはそれだけではないらしい。それだ。

さて、帝国ホテルに泊まり、誕生祝いをしたことが私の心を豊かにしてくれたというは正直な感想である。娘の気持ちはそれだけではないらしい。それだ。

さて、帝国ホテルが中心で、ロンドンについて書いている途上にもう一度英国に行こうと思い、一人で六月に再訪した。その結果、書くタイミングを逸してしまったのだ。

昨年の年末年始の旅はロンドンが中心で、ロンドンについて書いている途上にもう一度英国に行こうと思い、一人で六月に再訪した。その結果、書くタイミングを逸してしまったのだ。

昨年十一月、今年の七十五歳の誕生日から後期高齢者保険になるとの連絡を受けてしばらくして

この「巡礼館」と呼ばれ、日本を代表するホテルである。だからといって金持ちだけのためのホテルではない。確かに安くはないが「一流には一流だけの価値がある」。だが、これだけのスケールだと、経営の安定に、空室が目立つ時に安いキャンペーンとかパック旅行にも解放することも重要な方法の一つかもしれない。娘はそれも帝国ホテルについて書いていい。それは



娘から送られてきた本

はそれだけではないらしい。娘は單に私についての本が何冊も送られて來た。娘は單に私は「心の後期高齢者にならないで」と励ましてくれているよう思えた。